PAT-NO:

JP403026655A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03026655 A

TITLE:

PILING DEVICE

PUBN-DATE:

February 5, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

YAMADA, HIROSHI

KADOKURA, KIYOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NISSAN MOTOR CO LTD N/A

APPL-NO:

JP01159348

APPL-DATE: June 21, 1989

INT-CL (IPC): B65H029/34, B65H029/36, B65H031/10

US-CL-CURRENT: 271/213

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent misspiling by providing a receiving bed which temporarily receives a blank material, conveyed by a conveyer, in a horizontal attitude in a loading position while drops the temporarily received blank material by its own weight into a box by retracting action from the loading position.

CONSTITUTION: A blank material W is conveyed by a conveyer 32 from a direction B, input onto a pair of receiving beds and placed in a horizontal attitude. Here the receiving bed 4 is still maintained in a horizontal condition as in the past by weight of a weight 9. Thus loading the two to three sheets of blank materials W on the receiving bed 4. when weight acting thereon exceeds the weight of the weight 9, the receiving bed 4 is rotated in the direction of an arrow head a2 with a rotary shaft 5 serving as the center. By temporarily rotating the receiving bed 4 to a retracting position P2 of its vertical attitude, the several sheets of blank materials W, loaded up to that time, are dropped, with the attitude left as almost in a horizontal attitude, by the own weight toward the bottom part of a piling box 1 and piled, simultaneously the receiving bed 4 is reset to a loading position P1.

COPYRIGHT: (C)1991, JPO& Japio

⑲日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

◎ 公開特許公報(A) 平3-26655

50Int.Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)2月5日

B 65 H 29/34 29/36 7539-3F 7539-3F 8712-3F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

6発明の名称 パイリング装置

②特 願·平1-159348

20出 願 平1(1989)6月21日

@発明者 山田 博史

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社

内

⑰発明者門倉 清志

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社

内

⑪出 願 人 日産自動車株式会社

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

個代 理 人 弁理士 志賀 富士弥 外3名

明 細 書

1. 発明の名称

パイリング装置

- 2. 特許請求の範囲
- (1) プレス機械により切断された上でコンベア によって搬送されるプランク材を、コンベアの終 端部下方に位置するパイリングボックス内に自重 落下させてパイリングボックス内に多段にわたっ て積層するようにしたパイリング装置において、

パイリングボックス内に突出した観置位置とパイリングボックス内から退避した退避位置との間で変位可能であって、前記コンペアにより搬送されてくるブランク材を載置位置において水平姿勢にて一時的に受け取る一方、載置位置からの退避動作により一時的に受け取ったブランク材をパイリングボックスの上端部に設けたことを特徴とするパイリング装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、ブランキングプレスラインのパイリング装置に関し、さらに詳しくはブランキングプレス機械によって切断されたブランク材を多段にわたって積層するパイリング装置に関する。

従来の技術

この種のパイリング装置としては例えば第6図 に示す構造のものがある。

このパイリング装置は、ブランキングプレス機械31によって切断されたブランク材Wを例えばベルトコンペア32によって搬送し、そのベルトコンペア32の終端部下方に予め待機させてあるパイリングボックス33内に投入して自重落下させ、第7図に示すようにブランク材Wをパイリングボックス33内に多段にわたって積層するようにしたものである。

発明が解決しようとする課題

従来のパイリング装置においては、第6図および第7図に示すようにパイリングボックス33内のブランク材Wの積層高さに応じて、その上に投入されるブランク材Wの投入姿勢角θが変化する

ことになる。その結果、特にパイリングボックス 🦠 33内の積層高さが小さい場合には、第6図に仮 想線で示すように投入されたプランク材Wが反転 してパイリングボックス33内に正しくおさまら ずミスパイリングを起こすことがある。ミスパイ リングが発生すると、その都度プレス機械31:を 停止させた上で作業者が復旧作業を行わなければ ならず、プレスラインの稼動率が低下することに なる。

本発明は以上のような問題点に鑑みてなされた もので、パイリングボックス内の積層高さにかか わらずブランク材の投入姿勢角を一定に保つこと でミスパイリングの防止を図ったパイリング装置 を提供することにある。

課題を解決するための手段

.

本発明は、前述したようにプレス機械により切 断された上でコンペアによって搬送されるプラン ク材を、コンペアの終端部下方に位置するパイリ ングボックス内に自重落下させてパイリングボッ クス内に多段にわたって積層するようにしたパイ

と、ブランク材はパイリングボックス内の底部に 向かって自重落下して積層される。

したがって、パイリングポックス内でのブラン ク材の積層高さが次第に大きくなったとしても、 ブランク材の投入時における受け台 (載置位置で の)とコンペアの相対位置関係が不変であるから ブランク材の投入姿勢角は常に一定し、従来のよ - うなミスパイリングの発生を防止できるようにな る。

宴旅网

第1図~第3図は本発明のより具体的な一実施 例を示す図で、従来例と共通する部分には同一符 号を付してある。

第1図~第3図に示すように、ベルトコンベア 32の終端部下方に位置するパイリングボックス 1のうち、コンペア搬送方向と平行な一対の側壁 部2. 2に矩形状の閉口部3を形成し、この閉口 部3に水平な受け台4を配置してその先端部をパ イリングボックス1内に臨ませてある。受け台4 の下面には回転帕5が一体に固定されており、こ の間で回転変位可能となっている。

リング装置において、パイリングボックス内に突 出した載量位置とパイリングボックス内から退避 した退避位置との間で変位可能であって、前記コ ンペアにより搬送されてくるプランク材を載置位 置において水平姿勢にて一時的に受け取る一方、 載置位置からの退避動作により一時的に受け取っ たブランク材をパイリングボックス内に自重落下 させる受け台を、前記パイリングポックスの上端 部に設けたことを特徴としている。

受け台を執還位置と退避位置との間で変位させ る方式としては、受け台上に載せられたプランク 材の重量を利用して受け台を変位させる方式のほ か、アクチュエータによって直接受け台を変位さ せる方式としてもよい。

作用

上記の構造によると、コンペアによって搬送さ れてきたブランク材は所定の投入姿勢角のもとで 受け台上に投入され、水平姿勢のもとで受け台上 に一時的に載置される。そして、所定のタイミン グで受け台がパイリングボックス内から退避する

の回転軸5の両端部は側壁部2側のプラケット6 に支持されている。これにより受け台4は回転軸 5を回転中心として矢印a 1, a 2方向に回転可 能となっている。

回転輪5にはストッパー7が一体に固定されて おり、さらにストッパー7にはヒンジピン8を介 してウエイト9が回転可能に連結されている。そ して、受け台4にはウエイト9の重量により矢印 a 1 方向の回転付勢力が与えられており、第1図 に示すような受け台4の水平状態においてストッ パー7の下端部7aが側壁部2に当接して受け台 4の矢印al方向の回転限位置が規制される。— 方、受け台4の矢印a2方向の回転限位置は第4 図に示すような鉛直姿勢にてストッパー7の上端 部7bと側壁部2との当接により規制される。

つまり、受け台4は第1図に示すような水平姿 勢にてパイリングボックス1内に突出した載置位 置P1と、第4図に示すような鉛直姿勢にてパイ リングポックス1内から退避した退避位置P2と

このように構成されたパイリング装置においては、今仮りに第1図の受け台4上にブランク材Wが戦闘されていないものとすると、受け台4は第1図のような水平な載置位置P1で待機している。そして、ブランク材Wがベルトコンベア32により矢印B方向から搬送されてくると、ブランク材Wは一対の受け台4上に投入されて水平姿勢にて受け台4上に載置される。この時、受け台4はウェイト9の重量によりなおも従前の水平状態を維持する。

上記のようにして受け台4上に2~3枚のブランク材Wが積載されて受け台4に作用する重量がウェイト9の重量を越えると、受け台4が回転制5を中心として矢印a2方向に回転する。そして、第4図に示すように受け台4が一時的に鉛直を発することによってそれまで受け台4に載せられていた数枚のブランク材Wがほぼ水平姿勢のままでパイリングされる。 同時に、ブランク材Wの自重落下によって無載状

果が得られる。

発明の効果

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明のパイリング装置の一実施例を 示す図で第2図のA-A線に沿う断面図、第2図 態となった受け合4はウエイト9の重量により第 1 図のように水平な載置位置P1に復帰し、以降 は上記と同様の動作を繰り返すことになる。

こうしてベルトコンベア32から送り出される
2~3枚のブランク材Wについて1回の割合で受け合4が回転変位することにより、ブランク材W
はパイリングボックス1内に順次積層される。そして、パイリングボックス1内のブランク材Wの 積層高さの変化にかかわらずベルトコンベア32 から受け合4上へのブランク材Wの投入姿勢角は はば一定しているので、従来のようなブランク材 Wの反転等によるミスパイリングは発生しない。

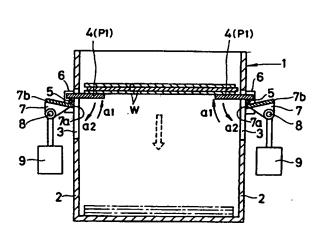
第5 図は本発明の他の実施例を示す図で、この実施例においてはブランキングプレス機械31のプレスサイクルに同期して、戦量位置P1と退避位置P2との間で受け台14をエアシリンダ10により選退変位させるようにしたものである。例えば、受け台14上に積載されたプランク材Wが2~3 枚になった時点でその都度受け台14を進退させることにより第1の実施例と同様の作用効

は上記パイリング装置の平面説明図、第3図は同じく上記パイリング装置の側面図、第4図は第1 図の状態から受け合が退避した状態を示す作動説 明図、第5図は本発明の他の実施例を示す断面説 明図、第6図および第7図は従来のパイリング装 置の作動説明図である。

1 … パイリングボックス、2 … 側壁部、4 …受け台、5 … 回転軸、7 … ストッパー、9 … ウェイト、10 … エアシリンダ、14 … 受け台、31 … ブランキングプレス機械、32 … ベルトコンベア、P1 … 載置位置、P2 … 退避位置、W … ブランク材。

特開平 3-26655 (4)



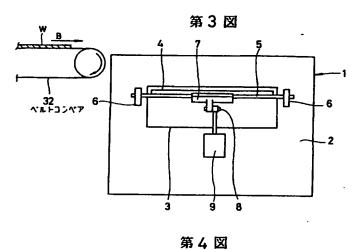


1 : パイリングボックス

2 : 側壁 都 4 : 受け台 5 : 回転軸

7 : ストッパー 9 : ウェイト P1: 載置位置

W : プランクオオ゙



7 7 8 7 7 8 6 6 5 7 a 2 9 4(P2) 3 9 9 4(P2) 3

第2図

